

令和 8 年 5 月 31 日

令和 7 年度 大阪市設瓜破霊園ほか 3 霊園及び大阪市立服部納骨堂の
運営管理に関する事業報告書

施設概要

名称	所在地	敷地面積	区画数	主な園内施設
瓜破霊園	大阪市平野区瓜破東 4-4-164	280,772 m ²	13,123 件	管理棟、合葬式 墓地、トイレ
服部霊園	豊中市広田町 1-1	192,448 m ²	8,289 件	管理棟
北霊園	大阪市北区長柄中 2-4-25	20,236 m ²	5,091 件	管理棟、倉庫
南霊園	大阪市阿倍野区阿倍 野筋 4-19-115	61,319 m ²	8,601 件	トイレ、倉庫
服部納骨堂	豊中市広田町 1-1 (服部霊園内)	-	-	納骨堂

指定管理者

団 体 名	株式会社 オフィス S K G 代表取締役 小林 航
所 在 地	大阪府和泉市鶴山台四丁目 5 番 1 2 号
指 定 期 間	令和 6 年 4 月 1 日～令和 1 1 年 3 月 3 1 日
報告対象期間	令和 7 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日
担 当 者	株式会社 オフィス S K G 小林 航
連 絡 先	06-6709-4000

1 指定管理業務の実施状況

管理の基本方針

(1) 公の施設に対する市民・利用者の信頼に応える

大阪市設霊園の設置目的に則り、遺骨埋葬の場を安定的に供給することで、市民および利用者の信頼を得ることを目指した。公正かつ的確な事務処理と諸施設・設備の適正管理を実施し、利用者に対する親身なサービスを提供した。

①公正かつ一貫した事務手続の実施

関係法令を遵守し、公正な事務処理を行った。霊地使用許可、使用権の承継、改葬許可などについて懇切丁寧に説明し、使用者をサポートした。個人情報の保護にも万全を期した。

- ・年間を通じて承継等諸届の受付、審査事務の実施
- ・霊園使用者募集業務の実施
- ・使用者調査事業の実施
- ・霊園管理システムへの適正な入力の実施
- ・使用墓地清掃、草引依頼の事務(墓地現地調査に基づいた郵便による利用者への清掃作業依頼)

②施設および設備の適切な保守管理

基本業務を着実に実施し、安全・安心を確保するとともに、予防保全を行い維持管理経費の節減を図った。

- ・霊地内用水路の修繕(服部霊園) 6/19
- ・園内アスファルト舗装の修理(瓜破霊園) 9/11, 9/16
- ・園内砂利路の整備(瓜破霊園) 8/7

③利用者の立場に立った親身なサービスの提供

高齢者や身体的能力の低下した方に対する接遇等において、親身なサービスを提供した。

また、接遇研修として手話の勉強を取り入れた。

(2) 貴重な自然環境を生かした景観美の構築・提供

芝生、生垣、樹木等の園内環境につきましては、計画的に剪定、施肥等の管理を行い、代行霊園が有する自然環境を十全に生かした、故人を偲ぶ場にふさわしく、墓参者に安らぎを与える景観美を構築・提供した。

- ・年間を通して園内の除草・剪定
- ・中低木の剪定・高木剪定
- ・季節の花の植え付け
- ・ランドスケープの創設として霊園内の広場のモニュメントを花壇として再生(瓜破霊園)

(3) 利用促進の強化

代行霊園の使用者募集業務

- ・一般墓（瓜破霊園、服部霊園）の応募方法を第1次募集として抽選募集、第2次募集として随時募集（R7.11.18～R8.3.8）にし、霊地を求める方が応募できる機会を増加させた。
- ・瓜破霊園内合葬式墓地の募集期間を令和6年度より早めた R7.4.1 から開始し、合葬式墓地の使用者を増加させた。

平等利用の確保について

当社は代行霊園の公共性を守るため、公正な事務手続を実施した。

（1）大阪市行政手続条例に基づく事務手続の実施

①事務処理件数

諸届出件数	8, 2 7 8 件
証明書発行件数	9 6 0 件
窓口・電話相談件数	2 6, 6 2 6 件

②使用料及び手数料収納事務委託契約に基づく収納事務

	臨時使用料		事務処理手数料	
	件数（件）	金額（円）	件数（件）	金額（円）
瓜破	554	944, 100	1, 028	257, 000
服部	322	546, 000	500	125, 000
北	92	108, 450	175	43, 750
南	218	463, 350	463	115, 750
計	1, 186	2, 061, 900	2, 166	541, 500

（2）ハンディキャップをお持ちの方への支援

高齢者や身体障がい者など施設利用を支援するため、以下のサポートを実施した。

- ・無料送迎バスの実施（瓜破霊園・服部霊園）
- ・小型車両による園内送迎の実施（瓜破霊園・服部霊園）
- ・車いすの無償貸出し
- ・園内自転車の貸出し（瓜破霊園・服部霊園）
- ・聴覚障がい者対応のため、受付カウンターに耳マークを掲示し、簡易筆談機を備えた。
- ・受付カウンターには、老眼鏡や拡大鏡を設置した。
- ・掲示板の内容を充実させ、ピクトグラムを用いて視認性を向上させた。
- ・サービス介助士による接遇研修を行い、高齢者や障がい者への適切な手助け、介

助を提供できるよう職員の意識・能力の向上を図った。

- ・接遇研修で手話の勉強を取り入れた。
- ・車いす対応車での送迎サービス（瓜破霊園・服部霊園）

（３）LGBTの方々への対応

- ・職員研修にダイバーシティに関する人権課題を組み込み、LGBTへの理解を深め、特別視せず適切な対応を行うよう徹底した。
- ・窓口で本人確認を行う際、性別ではなく、生年月日や住所等で確認した。
- ・霊園内の身体障がい者用トイレに「どなたでもご利用下さい」「ジェンダーレストイレ」の表示をした。

（４）利用者意見の聴取と改善

利用者満足度調査やご意見箱の設置等により、霊園利用者からの意見・要望を積極的に聴取した。

職員体制について

霊園の管理体制として、午前８時３０分から午後５時まで規定以上の職員を配置し、円滑な管理運営を実施した。

盆、秋彼岸、年末年始、春彼岸の墓参者集中時については、各霊園に園内誘導員を配置し、霊園内の案内誘導や不法駐車対策など、霊園での安心・安全対応を実施した。

（１）管理事務所の対応

特別期間中は、申請窓口対応、墓参者の誘導、道路渋滞状況への対応のため、必要人員を確保し、園内誘導員と連携して運営を円滑に図り、全体状況を把握し指示を行った。

（２）来園者調査等の実施

特別期間中に墓参者数や自動車数などを調査し、使用者の祭祀状況や墓参状況を詳しく把握を行った。また、多数の来園が予想される当該期間に現地で聞き取り調査を行い、霊地の適正使用に活かした。

（３）その他園内の墓参者対策

ごみ回収、トイレ清掃の頻度を増やし、清潔な環境を維持した。

職員研修と服務規律の取組について

霊園利用者の安全と個人情報保護を確保するため、担当職員の理解を深める研修を行った。

服務規律の確保として、事務処理マニュアルに基づく公正かつ一貫した事務処理及び使用者の立場に立った接遇の徹底について、管理責任者による日常的なチェックや職員全体会議での研修内容の再確認、また毎日の朝礼・夕礼における振り返りを通じて厳格

に実施した。

研修実績

	令和7年度
人権研修	9
個人情報保護研修	1
安全管理研修・防災訓練等	2
接遇研修	2
OJT研修 他	5

個人情報の保護

代行霊園では多くの個人情報を扱うため、その保護が重要です。当社は関連法令に従い、個人情報の保護を徹底した。

- ・個人情報取り扱い研修実施

外部講師を招聘したうえで個人情報保護の研修実施 1/28

- ・2人対応での点検実施

個人情報を送付する際、必ず2人対応で点検することを徹底した。

- ・プライバシーマークの取得

平成29年1月にプライバシーマーク認証を取得し、JIS Q 15001：2017 に準拠した管理システムを構築している。

危機管理・安全管理について

風水害や地震、熱中症や高齢者の転倒事故などから利用者を守るため、安全安心を最優先課題と認識しています。社会全体で協力し、危機事象に対応することが重要です。

(1) 危機管理体制の整備の実施

- ・危機管理体制の構築

危機管理責任者を設置し、情報を一元化した。また運営会議を活用して危機管理体制を構築した。

- ・地元警察等との防犯体制の連携

エリアが広い瓜破霊園の防犯対応として、近隣町会、地元警察署(生活安全課)と連携した防犯の取組を実施した。

- ・防災対策の実施

災害時に必要な電気発電機の保有、防災食料・水を保存し、使用期限や動作など確認を行った。

- ・事業継続計画(BCP)を作成し、職場内で周知した。

- ・日常的な危機管理の構築

来園者の安全・安心を第一と考え、巡回時に声かけを行い、案内、相談にも対応した。

・台風などの対応

台風の接近時に、園内飛散防止対策(水汲み場の桶、ひしゃく、ごみ箱などを縄で固定)を実施し、事故被害を最小限に留めるとともに、大阪市に被害状況の緊急報告を行った。

(2) 危機管理マニュアル等の整備の実施

(3) 関係機関との連携および研修

- ・平野消防署と連携し、防災訓練(瓜破霊園)を実施した。1/28、3/25
- ・阿倍野消防署と連携し、防災訓練(南霊園)を実施した。2/24、3/24
- ・AED研修(セコム)7/9

(4) 施設内事故等への対応

令和7年7月17日及び令和7年7月24日に瓜破霊園内で、水汲場の蛇口の窃盗事件が発生した。事件の発見後、速やかに警察及び貴局に報告を行い、巡回や警備強化に努めた。窃盗により破壊された水汲場は直ちに修理を行い、来園者への影響を最小限にとどめた。

(5) 事前予防対策

日常的な園内巡回・巡視業務の徹底による霊園の危険箇所の事前把握・点検を通じて、補修箇所の早期発見と対処をした。

- ・霊地内用水路の修繕(服部霊園)6/19
- ・園内アスファルト舗装の修理(瓜破霊園)9/11, 9/16
- ・園内砂利路の整備(瓜破霊園)8/7

(6) 地震等への対応

地震発生後の交通網の遮断に備え、各管理事務所内に備蓄物資(毛布、簡易トイレ、飲料水、非常用食料、防災テント等)を備えた。

事業計画、サービス向上策等

(1) 事業計画について

効率的に代行霊園の維持管理体制を構築・運営し、募集要項の範囲内で業務を遂行し、質を向上させます。地元町会など周辺住民の意見を定期的に取り入れ、地域との調和を図った。

具体的な維持管理の手法

①事務処理マニュアルに基づく公正かつ一貫した事務処理

②水汲み場の維持管理

バケツやひしゃくなどを整理整頓し、水汲み場を常に清潔に保った。

今年度にバケツ・ひしゃく・ブラシの交換を行った。

③分別回収の実施

- ・空き缶やペットボトルの分別回収を行った。

④止水栓や水道栓の漏水防止作業の実施

- ・適切な保守管理と修繕で設備の長寿命化を図った。
- ・瓜破霊園の水道の補修 9 か所
- ・服部霊園の水道の補修 8 か所
- ・南霊園の水道の補修 3 か所

⑤「緑の保全と創出」を目指した予防保全型の植栽管理の導入

- ・瓜破霊園内2区広場のモニュメントを花壇として整備し、ランドエスケープの創出をすることによって、来園者や近隣住民の憩い場を提供した。
- ・緑地帯および樹木を適宜、刈込、剪定を実施した。
- ・目視による樹木の健全度の点検・診断の実施を行い、危険木の伐採を実施した。

(瓜破霊園・服部霊園)

⑥地域特性を踏まえた適正な植栽管理

北霊園、南霊園など、緑地が少ない霊園についても、プランターを設置し、季節の花を植え付けた。

⑦実効性の高い植栽管理

- ・緑維持管理について

環境保持として、日常的に徹底した除草作業、猫の糞除去を実施し、良好な環境を維持した。

瓜破霊園の広場は、日常的に除草を実施した。

- ・高木・中木剪定作業

健全な樹形を維持するため、盆・秋彼岸前の夏季に「整枝剪定」、春彼岸前冬季に「骨格剪定」を実施した。

- ・生垣剪定作業

冗枝・徒長枝を剪定し、両面を刈り込んだ後に天端を整え、霊地や墳墓に影響がないよう注意し剪定作業を実施した。

- ・プランター、花壇等の草花管理

花苗の植え付け後、健全な生育のために摘み取りや補植、病虫害防除を実施した。

- ・毛虫等の病虫害対策

毎日の巡視で病虫害を把握し、被害があれば剪定や除草で対応を実施した。

⑧慰霊祭の挙行政

南霊園 無縁仏慰霊祭 9/10

服部霊園 大阪市戦災犠牲者慰霊祭 9/10

瓜破霊園内合葬式墓地 献花の日 10/1

⑨歴史的墓地の保護

服部霊園内の坂田三吉の墓や南霊園内の五代家の墓など、歴史的価値を有する名士・文化人の墓の保護に配慮し、園内巡回等を適切に実施した。

⑩霊園利用者の送迎

瓜破霊園と服部霊園は、最寄り駅である地下鉄出戸駅、北大阪急行緑地公園駅及び阪急宝塚線曽根駅から走行距離で約２キロメートル離れていることから、来園者の皆様の利便性を確保するため、送迎車の運行を実施した。

また、盆、秋彼岸、春彼岸には多くの墓参者が来られることから、送迎車両を増便し、各駅の送迎車乗り場に案内スタッフを配置した。

車いすを使用されている利用者用に、車いす対応車を用意し、車いす利用者の送迎を行った。

⑪利用者の意見・要望や自己点検結果を反映した維持管理の改善

アンケート回収箱や管理事務所で利用者の声を聴取し、また、盆・彼岸の来園者にアンケートの回答を依頼した。それらの結果を貴市に報告、優先順位を定めて改善を行った。

盆アンケート結果 総数 539 件

(園路・通路の状況)	大変満足・満足	97.0%	不満・とても不満	3.0%
(トイレの状況)	大変満足・満足	94.9%	不満・とても不満	5.1%
(水道設備)	大変満足・満足	97.5%	不満・とても不満	2.5%
(ゴミ箱状況)	大変満足・満足	96.6%	不満・とても不満	3.4%
(樹木状況)	大変満足・満足	93.5%	不満・とても不満	6.5%
(職員の対応)	大変満足・満足	99.1%	不満・とても不満	0.9%

秋彼岸アンケート結果 総数 473 件

(園路・通路の状況)	大変満足・満足	95.8%	不満・とても不満	4.2%
(トイレの状況)	大変満足・満足	94.2%	不満・とても不満	5.8%
(水道設備)	大変満足・満足	97.3%	不満・とても不満	2.7%
(ゴミ箱状況)	大変満足・満足	94.9%	不満・とても不満	5.1%
(樹木状況)	大変満足・満足	91.9%	不満・とても不満	8.9%
(職員の対応)	大変満足・満足	99.2%	不満・とても不満	0.8%

春彼岸アンケート結果 総数 505 件

(園路・通路の状況)	大変満足・満足	96.7%	不満・とても不満	3.3%
(トイレの状況)	大変満足・満足	94.8%	不満・とても不満	5.2%
(水道設備)	大変満足・満足	98.9%	不満・とても不満	1.1%
(ゴミ箱状況)	大変満足・満足	98.7%	不満・とても不満	1.3%
(樹木状況)	大変満足・満足	95.5%	不満・とても不満	4.5%
(職員の対応)	大変満足・満足	99.7%	不満・とても不満	0.3%

⑫総合賠償責任保険への加入

施設管理運営責任を果たすため、事故に備えて総合賠償責任保険に加入した。

⑬受益者負担の原則に基づく霊園管理料徴収事務

・受益者負担の原則

施設を利用する者と利用しない者との「負担の公平性・公正性」を確保するため、利用者に応分の負担を求める「受益者負担の原則」の徹底を第一義といたします。

・霊園管理料徴収事務

代行霊園の管理料の徴収事務につきましては、大阪市設霊園条例及び同施行規則並びに大阪市設霊園の管理料徴収事務処理要綱に準拠し適正に処理し、万一、未収金が発生した場合は、環境局作成の霊園管理料未収金徴収事務処理マニュアルに従い、确实かつ丁寧な回収を図った。

長期未納者に対して、現地訪問等を行った。

⑭使用者現況調査及び無縁墳墓改葬整備業務（霊地使用権消滅に係る業務を含む）

霊地の使用は、通例、長期間に及ぶことから、その間の使用者の死亡、転居等の事情を的確に把握し、霊地の適正な使用を確保していく必要があります。

当社は、使用者現況調査及び無縁墳墓改葬整備業務を実施した。

㊦使用者現況調査

使用者現況調査につきましては、霊地の適正管理を行うため、住所地が現住居表示以前の使用者や20年以上届出のない使用者を中心として、墓所に調査札の掲示を行った。

また大阪市を通じて本籍地照会を依頼し現況調査を行った。

①無縁墳墓改葬整備業務（霊地使用権消滅に係る業務を含む）

過去に使用者調査を行い、無縁墳墓による官報公告がなされた霊地であつ、現況が荒れはて、墓参されていない霊地について、無縁墳墓改葬を行った。

㊦小区画墓地の整備

限られた霊地の中で供給可能な墓所数の増加を目指す必要があることから、従来よりも小区画（1霊地～4霊地）な墓所の整備を行った。

また、大きな区画の霊地を分割・小区画化して、これまで墓所整備が困難であった区域においても、まとまった数の墓所を供給することによって、より多くの市民へと提供できる体制を整えて墓所の循環利用を促進するとともに、一定額の歳入確保につなげるよう図った。

⑮霊園の使用者募集業務

㊦新規募集霊地整備

令和7年度は、環境局担当者と綿密な調整を行い、瓜破霊園、服部霊園について新規募集霊地整備業務を実施した。

①新規使用者募集業務

瓜破霊園、服部霊園及び瓜破霊園内「合葬式墓地」の新規使用者募集を行った。

- ・ 瓜破霊園 214 区画 500 霊地
- ・ 服部霊園 73 区画 250 霊地
- ・ 瓜破霊園内「合葬式墓地」 R7. 4. 1～R8. 3. 8

(2) サービス向上策について

①相互受付の実施

霊地使用者が最もアクセスしやすい代行霊園でも手続きが行えるようにした。

②サービススタッフの資質向上等

OJT 研修をはじめとする各種研修の実施や全体職員会議の開催によって、管理事務所職員全体のスキルを底上げしたうえ、大部分の事務についてワンストップサービスを実施し、待ち時間の短縮等、利用者の便宜の向上を図った。

③霊園へのアクセス・移動に関するサービス

- ・ ハンディキャップをお持ちの方の園内移動に対する支援
車いす対応車による個別送迎（瓜破霊園・服部霊園）
- ・ 無料送迎バスの実施（瓜破霊園・服部霊園）
- ・ 送迎車発車時の運転手による声掛けの励行など
- ・ レンタル自転車の実施（瓜破霊園・服部霊園）

④物品・設備に関するサービス

- ・ 墓参者への物品無償貸出し
（線香着火器、バケツ、ブラシ、剪定ばさみ、傘など）
- ・ 受付カウンターへの老眼鏡の設置等
老眼鏡、拡大鏡、筆談機を設置し、案内表示のユニバーサルデザイン化も進めた。
- ・ 公園式墓地としての価値を向上させる植栽、花木類の充実
瓜破霊園 2 区広場のモニュメントを花壇として整備した。

⑤霊園づくりに関するサービス

- ・ 霊園だよりの掲示板への掲出
- ・ 地域との連携、市民・NPO との協働等
 - ・ 大阪市立瓜破西中学校 教職員の地域実習の受入れを行った。 8/6、8/7
 - ・ 大阪市立瓜破東小学校 瓜破霊園内で小学校のかけ足大会を開催した。1/30
 - ・ 大阪市立喜連中学校 職場体験実習の受入れを行った。 11/3、11/14
 - ・ 瓜破東社会福祉協議会 ウォーキング大会を開催した。5/18

⑥その他のサービス

- ・ 手作り供花の作成イベント（瓜破霊園）3/28
墓参の方を対象に、手作り供花の作成イベントを実施した。
- ・ ホームレス対策の実施
日々の巡回業務等において、ホームレスが野宿生活などにより霊園内を起居の場

として日常生活を営んでいることが確認された場合には、積極的な声掛けを行った。

- ・各種自主事業（金銭の授受を伴うもの）の実施

瓜破霊園で供花販売、各霊園でローソク・線香の販売、服部霊園で霊地の供花・お墓維持管理代行を実施した。

使用者の満足度の把握・利用促進策

（１）使用者の満足度の把握について

代行霊園の適正な維持管理及びサービスの維持・向上を図るうえで、墓参者を始めとする霊園利用者の皆様の声に真摯に耳を傾け、適切な対応を図っていくことが必要不可欠であると認識し、次の手法により、利用者の満足度を的確に把握を行った。

①様々な手法による積極的な意見聴取

- ・ご意見箱の設置

管理事務所及び休憩所にご意見箱を設置し、利用者の皆様のご意見を聴取した。

- ・利用者の生の声の聴取

ご来園された利用者の生の声を丁寧に聴取した。

- ・利用者アンケートの実施

盆やお彼岸の墓参者が多数来園される時期に、利用者に対しアンケート調査を実施した。

- ・Web サイトによる意見聴取

代行霊園の Web サイトに利用者の意見を送信できるページを設けた。

②聴取した意見の検討及び管理運営改善への反映

霊園利用者の皆様からいただいたご意見、苦情等につきましては、管理事務所全体会議、作業会議の議題として検討し、迅速な対応を図った。

③環境局担当部署への報告・調整

聴取したご意見、苦情、アンケート結果等につきましては、環境局担当部署に適宜、報告のうえ、改善策の実施に当たっての優先順位等について、慎重に協議・調整を行った。

④苦情対応について

利用者のご意見のうち、特に苦情（クレーム）につきましては、使用者の皆様に対し普段から丁寧な接遇・説明に努め、苦情の未然防止を徹底した。それでも発生する苦情につきましては、その内容を正確に把握したうえ、上述のとおり的確な対応を行うとともに再発防止を図った。

（２）利用促進策について

代行霊園の永続的・安定的運営を図るため、環境局担当部署との密接な連携のもと、次のとおり、様々な手法を活用して、積極的かつ精力的に代行霊園の利用促進を図った。

①新規霊地の使用者募集の実施

使用者からの自主的な霊地の返還や無縁墳墓改葬整備業務に基づいて大阪市の管理地となった区画につきましては、新たな供給に向けた再整備を行うとともに、貴市の指示に従いながら募集方法、供用数及び募集時期等に係る実効性の高い使用者募集計画を策定し、募集区画のすべてに使用者を決定できるように厳正かつ公正な使用者募集事務を行い、新規供用数の確保を図った。

また、申込区画の応募者が多数の場合における公開抽選につきましては、当社のホームページ等で事前に応募状況や抽選の仕組みを分かりやすく丁寧に説明するとともに、公開抽選を実施し、抽選結果を公表するなど公正・公平な募集事務を行った。

②令和7年度からの新たな取組

- ・ 応募者の機会損失を減らすため、一般墓（瓜破霊園、服部霊園）の応募方法を第1次募集として抽選募集、第2次募集として随時募集（R7.11.18～R8.3.8）にし、霊地を求める方が応募できる機会を増加させた。
- ・ 瓜破霊園内合葬式墓地の募集期間を令和6年度より早めた R7.4.1 から開始し、合葬式墓地の利用者を増加させた。

③積極的な募集広告の実施

- ・ 大阪メトロおよび阪堺電車における中吊り広告
- ・ 大阪市区役所や近隣都市施設における周知チラシの備え置き及びポスターの掲示
- ・ インターネットによる情報発信

④瓜破霊園内合葬式墓地の新規募集

墳墓の管理や承継手続き等が不要な合葬式墓地のメリットを広くPRするなど新規利用者の募集活動を積極的に進め、前年度より多くの申し込みがあった。

令和7年度 新規申込数 874 件

自主事業について

代行霊園を利用される皆様の切実なニーズにお応えし、代行霊園における利便性・サービスを向上させるため、以下の自主事業を実施した。

実施した事業

- ・ 供花、ローソク、線香の販売
- ・ 自動販売機（災害支援型自動販売機）による清涼飲料水等の販売
- ・ 供花やお墓の維持管理の代行サービス

社会的責任

（1）環境への取組

地球温暖化の防止や資源の循環的利用などの環境問題に真摯に取り組むことは、持続

可能な社会の実現に向けた、事業者としての社会的責任であると認識しており、当社は、次のような取組を行った。

①エコアクション 21 に基づく総合的な取組

- ・ 電力使用量の削減
- ・ 水道使用量の削減
- ・ 廃棄物の発生抑制及び再資源化
- ・ 駐停車時のアイドリング・ストップなど
- ・ 大阪グリーン購入ネットワークのグリーン購入ガイドラインに則した物品調達

②その他の環境保護の取組

- ・ 環境美化の推進
- ・ 環境保護のための社会的システム作りへの参画
- ・ 生物多様性の保全の取組

(2) 霊園の環境の保全、ごみの適正処理

エコアクション 21 認証を受け、節電や節水に取り組んでいます。

①環境の保全

- ・ 作業車のアイドリング・ストップの徹底
- ・ 除草、剪定作業にバッテリー式機器の使用、事務用品の再生品の購入を実施した。
- ・ 日常的にトイレ清掃、園路等の園内清掃、除草、植栽剪定、高木刈込を実施した。

②ごみの適正処理(ごみ収集処分)

毎週の定曜日収集のほか、盆・秋彼岸・年末年始・春彼岸の来園者集中期間においては、ごみ量に合わせて、収集頻度を上げた。

③廃棄物の発生抑制及び再資源化

- ・ 剪定枝等の再利用

園内の植栽管理から生じる剪定枝等を堆肥化や、献花の枯れた部分は小まめに回収し、美観を維持するとともに一部をコンポストで堆肥化させ、瓜破霊園内の植栽管理に再利用した。

- ・ 設備点検・補修による寿命延長

日常的に設備を点検し、早期に補修を行って寿命を延ばし、廃棄物の発生を抑制した。

- ・ 廃棄物の発生抑制

資料の簡略化、最小限の印刷、両面印刷や裏面利用、紙の使用量を抑えた。

事務用品には詰替商品を使い、職員にはマイカップを持参させることにより使い捨てコップの使用を削減した。

- ・ 資源ごみのリサイクル

金属缶、ペットボトル、段ボールなどは分別し、再生資源業者に引き渡してリサイクルを行った。

- ・作業道具の電動化

草刈機、生垣バリカン、チェーンソーなどは電動式機材を使用する比率を上げた。

④その他の環境保護の取組

- ・環境美化の推進

大阪府アドプト・ロード・プログラムの一環として、近隣地域のボランティア清掃に月1回取り組んでいます。

- ・環境保護のための社会的システム作りへの参画

なにわエコ会議のエコパートナーとして、環境保護活動に参加した。

就労困難者等の雇用取組状況

障がい者等の就労困難者を積極的に雇用することは、事業者の社会的責任と認識しています。

- (1) C-STEP の仲介により、知的障がい者の実習を受け入れています。

平成28年度：大阪府立貝塚高等学校から1名

令和2年度：大阪府立信太高等学校、大阪府立貝塚高等学校から各1名

令和4年度：大阪府立すなわ高等支援学校から1名

- (2) 実習結果を基に、本格採用を行っています。

令和6年度：知的障がい者 1名の雇用

- (3) 障害者自立支援センターほっぷからの専門的なサポートを受け、職場定着促進に努めた。

個人情報保護など人権に関する取組

- (1) 個人情報保護の取組

顧客の権利および利益を保護するため、以下の対策を講じています。

- ・平成29年1月にプライバシーマークの認証取得
- ・個人情報保護方針の策定および具体的手法の実施

- (2) 女性の活躍促進の取組

性別問わず、能力を発揮できる職場環境を整備するため、次の取組を行った。

- ・具体的取組

管理職に占める女性職員割合の向上、平均超過勤務時間の削減、再雇用実績の向上など取組を行った。

2 収支状況

令和7年度 「大阪市設瓜破霊園ほか3霊園及び大阪市立服部納骨堂」
3月末 比較収支状況

(4霊園合計)

(単位：千円)

		内訳			備考
収入合計 (A)		予算	決算	増減	
		215,520	215,605	85	
項目	指定管理代行料	215,000	215,000	0	
	自主事業	520	605	85	
支出合計 (B)		215,520	211,725	-3,795	
項目	人件費	105,294	107,671	2,377	
	事務費	5,959	4,687	-1,272	
	管理費	23,016	24,244	1,228	
	修繕費	8,000	14,037	6,037	
	水道光熱費	11,606	11,775	169	
	委託費	61,645	49,311	-12,334	
収支 (A) - (B)		0	3,880	3,880	

上記のとおり報告します。

大阪府和泉市鶴山台4丁目5番12号
株式会社 オフィスSKG
代表取締役 小林 航